



水経第 559 号
令和 8 年 7 月 31 日

小田原市上下水道事業運営審議会
会 長 長 岡 裕 様

小田原市水道事業
小田原市長 加 藤 憲



水道料金改定について（諮問）

「おだわら水道ビジョン（令和 4 年 6 月改定）」に掲げた基本理念である「いつまでも安心でおいしい水をお届けします」を実現するため、水道料金の改定について別紙理由書に基づき諮問いたします。

理 由 書

本市の水道事業は、人口減少等に伴う水需要の減少により、給水収益が減少傾向にあります。一方で、水道施設は高度経済成長期に整備されたものが多く、老朽化した施設の更新や耐震化等を計画的に進めていく必要があります。さらに、近年の急激な物価高騰をはじめ、労務単価の上昇や金利の引上げ等により事業費が大幅に増加しており、水道事業を取り巻く経営環境はより一層厳しさを増しています。

このような社会経済情勢の変化を受けて、令和8年3月に改定した「小田原市水道事業経営戦略」において将来の収支を検証した結果、現行の料金水準を維持した場合、数年後には資金残高が不足し、事業継続が困難になる見込みであります。

ついては、本市水道事業が掲げる基本理念「いつまでも安心でおいしい水をお届けします」並びに将来像「安全でおいしい水道」「災害に強い水道」「健全経営を保つ水道」の達成に向けて、経営基盤の強化及び健全経営の維持を図るため、本市にふさわしい今後の水道料金の体系及び水準について、審議をお願いし、意見を求めるものであります。